



緊急事態!!

労災死亡事故多発中

8月下旬以降13人が死亡

令和4年8月24日から10月26日までの期間において、13件もの労災死亡事故が発生しています。（事故の詳細は裏面参照。）

静岡労働局では、このような状況を受け「**労災死亡事故多発警戒**」を発令し、より一層の労災死亡事故防止を呼び掛けています。

事業主の皆さまにおかれましては、労働安全衛生関係法令の遵守はもとより、次の労働災害防止対策の実施状況を今一度ご確認くださいませようをお願いいたします。

労働災害防止のためのチェックリスト

①安全衛生管理体制について

- 事業場の安全衛生管理体制が整備されているか。
- 安全衛生管理者、作業主任者、職長等事業場の責任者から業務の遂行状況を報告させ、必要に応じ実施状況について指導ができているか。

②「5S」について

- 整理、整頓、清掃、清潔、しつけの「5S」について徹底されているか。

③リスクアセスメントについて

- 職場に存在する多種多様な危険性又は有害性の特定ができているか。
- 特定した危険有害性をもとに、リスクの見積もりができているか。
- 見積もりしたリスクをもとに、リスク低減対策ができているか。
- リスク低減後の作業計画となっているか。

④日常的な安全衛生活動について

- KYT（危険予知訓練）やヒヤリハット活動が実施されているか。

⑤安全衛生教育について

- 雇入れ時教育、作業内容変更時教育、特別教育、職長教育等の各種教育が行われているか。

⑥健康管理について

- 作業前に体調不良等の異常がないことの確認ができているか。
- 労働安全衛生法に基づく各種健康診断を実施しているか。

《 労災死亡事故状況詳細 》

発生日	業種	年齢	発生状況
8月24日	建築工事業	60代	店舗改修工事において、天井の電灯の配線替えのため、脚立足場（作業床の高さ約1.8m）に乗り、電灯の取付作業をしていたところ、背中から床面に墜落し死亡した。
8月30日	その他の事業	70代	顧客の自家用車を代行で運転し、目的地に到着したため、随伴車に乗ろうとした際に深さ1m程度の用水路に転落し死亡した。
9月6日	土木工事業	60代	4tダンプトラックの荷の載せ替え作業時に、駐車のために後進していたダンプトラックと停車していたドラグ・ショベルとの間に挟まれ死亡した。
9月20日	その他の事業	50代	台風14号通過に伴う点検作業を駅舎外壁部に設置された点検デッキ上にて行っていた際に、デッキ床面に異常が確認されたため近づいたところ、床面が抜け約9.5m下の線路上に墜落し死亡した。
9月23日	その他の事業	60代	浜松市内の県道にて交通誘導をしていたところ、トラックにはねられ死亡した。
9月23日	その他の建設業	50代	脚立と庇の間に渡した足場板の上で配管の切断を行っていたところ、加圧されていた配管内の空気が噴き出し、勢いで約2.5m下の地面に墜落し死亡した。
9月27日	土木工事業	50代	台風15号の影響で県道に流れ出した土砂の撤去作業を行っていたところ、排水管から大量の水が噴き出し約20m下に転落し死亡した。
9月28日	その他の工事業	30代	浜松市内の工事現場に向かう途中、東名高速豊田JCT付近で停車していたところ、後方から来たトラックが荷台のガスボンベを道路上に散乱させた。ガスボンベが落下した衝撃により発生した爆発火災により火傷を負い死亡した。
10月12日	土木工事業	10代	河川敷にて、伐木等を不整地運搬車で運搬する作業等を行っていたところ、オペレーターが乗ったまま不整地運搬車が川に転落し死亡した。
10月17日	土木工事業	70代	台風15号の影響に伴う農道の補修工事の際に、地面をドラグ・ショベルのバケットの背で押さえつけ締め固めていたところ、農道の一部が崩壊し、乗っていたドラグ・ショベルとともに約2.8m下の地面へ転落し死亡した。
10月18日	窯業土石製品製造業	40代	後退してきたフォークリフトと停車していたトラックとの間に頭を挟まれ死亡した。
10月19日	食料品製造業	70代	浄化槽のメンテナンスを行っていた被災者が行方不明になり、翌日浄化槽内で発見され死亡が確認された。
10月26日	建築工事業	70代	民家に付属するウッドデッキを解体中、ウッドデッキのフェンスを取り外す作業を行っていたところ、ウッドデッキが崩れ、乗っていた2名が約3.6mの高さから墜落し、うち1名が死亡した。

●上記13人中8人が工事現場で死亡！！

建設業の安全対策に関してガイドライン等を公表しています。詳細は⇒



●高齢労働者の安全衛生対策について

「エイジフレンドリーガイドライン」を公表しています。詳細は⇒

